

事業等名 外食産業事業継続安定化事業（令和4年度要求）

担当部局 新事業・食品産業部外食・食文化課

（現状・課題）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外食事業者においては売上の減少や倒産など大きな影響を及ぼしており、経営継続や従業員の雇用の維持への不安も高まっている。外食事業者が徹底した感染防止対策や業態転換を講じながら着実に収益を確保しつつ事業を継続していくことが喫緊の課題であるが、新型コロナウイルス感染症の影響が当初想定されていたより長期かつ広範にわたっており、外食事業者の体力も弱まっていることから、これらに対する支援が必要。

（現状・課題を示すデータ）

- ① 外食産業の売上高（令和2年）
：対前年比84.9%（過去最大の落ち幅）
- ② 消費支出に占める外食の割合（家計調査）
：令和元年5.0%、令和2年3.9%
- ③ Covid-19関連倒産飲食店件数（5/13時点）
：243件（全産業1,475件のうち最多）

インプット

アクティビティ

アウトプット

アウトカム
（短期）

アウトカム
（中・長期）

インパクト

予算
（百万円）
R4:1,000

①飲食店の感染防止対策や新しい生活様式に対応した業態転換等の先進的モデルケースを形成するため、外食事業者を支援

②中堅・大手外食事業者の円滑な資金融通（債務保証）

①モデルケースの形成
【R4:63件】

②融資実行件数
【R4末まで:20件】

①モデル飲食店におけるクラスターの発生件数：0

指標
①

②融資実行外食事業者の事業継続：100%

①・②第三次産業活動指数における「飲食店・飲食サービス業」の指数
：令和4年において令和元年水準に比べ指数を上回る月があり、令和5年の年間の指数が、令和元年水準を上回る

指標
②

・持続可能性の高い外食産業構造の実現

指標
① 飲食店におけるクラスター発生件数：1,426件（令和2年6月～令和3年5月）

指標
② 経済産業省「第3次産業活動指数」における「飲食店・飲食サービス業」の指数：月次の最低値38.9（令和2年4月）／年間73.6（令和2年）、99.6（令和元年）

外部の影響要因

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（令和2年3月28日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）
- ・新型コロナの影響を特に受けている飲食・宿泊等の企業向けの金融支援等について（令和3年3月23日第2回新型コロナに影響を受けた非正規雇用労働者等に対する緊急対策関係閣僚会議報告）
- ・中小事業者の資金融通については、別途、セーフティネット保証等で措置。